

▼あなたの声や地域・職場での話題をお寄せください。★役場企画政策課まで（電話72・0332）

## オシドリを題材に、俳句の輪が広がる

### ▼おしどり俳句コンテスト 入選句発表と表彰式

「日野町を俳句の里に」実行委員会（梅林敏彦代表）が、町の冬の風物詩オシドリを題材にした俳句を募集した『おしどり俳句コンテスト』の入選句の発表と表彰式が、3月3日、根雨のオシドリ資料館で行われました。昨年11月から今年1月までの募集期間中に、町内をはじめ、島根県や広島県、兵庫県など県外から応募された俳句は169句。どれもオシドリに魅せられた見事なものばかりで、俳句を通じた交流の輪が広がりました。



表彰式に参加された皆さん（後列左から足羽藤恵さん、安達公一さん、前列左から山縣優奈さん、山縣さやかさん、山根浩稀さん、住田桜紀さん）



詠んだ句の思いを語る足羽さん（中）



俳句愛好者らが見守る中での表彰式

町が俳句の里になるよう活動している同実行委員会が気軽に俳句に触れてほしいと、町まちづくり交付金を活用して計画しました。オシドリ観察に訪れる人や町民などのほか、インターネットで全国に投句を呼びかけました。

一般の部で特選に選ばれた足羽藤恵さん（小原）は「息子が結婚式で、出身はオシドリが飛来する町、オシドリのように連れ添っていきたくてあいつしたことを思い出して詠んだ句です」と、笑顔で受賞を喜びました。

また、県外から表彰式に参

加した安達公一さん（松江市）は「孫とオシドリを見に来たときに、コンクールを知りませんでした。その場では思いつかなかったため、後日応募したところ、入賞となり驚いています」とほほ笑みました。

主催した同実行委員会代表の梅林さんは「投句が、169句もあったことに喜んでいきます。小学生も放課後子ども教室で取り組んだ成果が出ました。町内に優秀な句を作られる方がたくさんおられることが分かり、今後も俳句を通じて交流したい」と、期待に胸ふくらませました。

選者別受賞作品

町内の受賞者と町外から参加の安達公一さんの作品を紹介します(選者別)

選者..大谷正子さん

鳥取県俳句協会幹事長

▼一般の部

【特選第一席】

ふるさとのおしどり誇り華燭の詞

足羽藤恵さん(小原)

【佳作二位】

鴛鴦の集いて岸辺水光る

梅林和子さん(黒坂)

【佳作三位】

この川が好きと幾年鴛鴦群れる

稲田武子さん(根雨)

【佳作四位】

鴛鴦雌雄離れず静か水鏡

生田典子さん(黒坂)

【佳作六位】

鴛鴦や枝に止まりて花が咲く

田貝桂子さん(根雨)

【佳作七位】

鴛鴦来たりふれあい生まる峽の町

松田暢子さん(根雨)

▼小学生の部

【優秀作】

おしどりのはねがきれいだおとこまえ

山根浩稀さん(根雨小一年)

【優秀作】

おしどりのきれいな羽はめすのため

住田桜紀さん(黒坂小三年)

選者..美柑みつはるさん

新日本海新聞俳壇選者

▼一般の部

【特選第二席】

孫と来ておしどり愛でむ日野川よ

安達公一さん(松江市)

【佳作二位】

鴛鴦の見えつ隠れつ朝の靄

若林 朗さん(金持)

【佳作七位】

おしどりの水面に遊ぶ日野の里

谷口美知子さん(黒坂)

▼小学生の部

【優秀作】

おしどりやチュピックオツとはなしてる 山根浩稀さん(根雨小一年)

選者..遠藤甫人さん

米子俳句作家協会幹事長(日野町出身)

▼一般の部

【特選第一席】

まぼろしか夕日に映える銀杏羽

森田順子さん(根雨)

【特選第二席】

鴛鴦の見えつ隠れつ朝の靄

若林 朗さん(金持)

【佳作二位】

ぼくの町おしどり来ると誇る児ら

森田順子さん(根雨)

【佳作三位】

おしどりややぶの木陰で目を細む

田貝桂子さん(根雨)

【佳作四位】

鴛鴦雌雄離れず静か水鏡

生田典子さん(黒坂)

【佳作六位】

水量の増して鴛鴦落ち着かず

頭本まさほさん(下黒坂)

【佳作七位】

日野町の景色となりて鴛の群

藤嗣公子さん(黒坂)

▼小学生の部

【優秀作】

おはようとおしどりさんにこえかけた

山根浩稀さん(根雨小一年)

【優秀作】

おしどりさんみんなげんきにあそんでる

山縣優奈さん(黒坂小一年)

人気投票高得点賞

小学生の部

応募された全句の中から、町民や観光客の皆さんが好きな句を選んで投票したもので、町内からは2人の句が高得点となりました。

おしどりや水にうかべしその姿

金川大空さん(黒坂小六年)

おしどりがなかよくしている川の中

山縣さやかさん(黒坂小三年)